

サステナブル・ビジネス・マガジン

alterna

オルタナ
November 2020

62

抜粋版

SDGsが牽引
エシカル消費

【トップインタビュー】

星野 佳路 星野リゾート代表

ステイン・ヴァンデヴォースト ダノンジャパン社長

中井 徳太郎 環境事務次官

香川 照之 俳優 / Insect Collectionプロデューサー

サステナブルセクション★2020発表

オルタナ

2020年10月30日発行
通巻第62号

編集・発行人：森 拱 発行・発売：株式会社オルタナ

〒153-0041 東京都目黒区駒場1-26-10-304 電話：03-6407-0266 フax：03-6407-0267

非売品

■「サステナブル★セクション2020」第2期募集中（無料）

「サステナブル★セクション2020」第2期を募集しています。

★（一ツ星）は無料です。ぜひご応募ください。



■メルマガ購読者募集中、読者プレゼントも！

週3回（月・水・金）の発行です。オルタナ編集長・森 拱が、誌面に載せ切れなかった話、こぼれ話、イベント情報などを配信します。メルマガ限定の読者プレゼントも。

お申し込み

mail@alterna.co.jp

または右のQRコードから登録



■購読のご案内

サステナビリティの最新情報を知りたい方に！

年間割引、送料込みの定期購読がお得です。

富士山マガジンサービスではデジタル版も展開しています。

オルタナ 検 索

富士山マガジンサービス

0120-223-223

（年中無休・24時間営業）



■オンラインのご案内

オルタナ・オンラインや若者向け「オルタナS」、Yahoo!ニュースでも毎日サステナビリティに関する情報発信をしています。

オルタナ・オンライン

<http://www.alterna.co.jp>



オルタナS

<http://alternas.jp>



12月から有料会員サービススタート！

会員募集開始

過去から未来を読み解く

【特典】バックナンバー
読み放題
and more!

月額
990円
（税込）

問い合わせ先 株式会社オルタナ
東京都目黒区駒場1-26-10 ドミナーレサクマ304
✉ info@alterna.co.jp ☎ 03-6407-0266



Dari K
「プレミアム
チョコレート」

生産者を支える 独自の買取価格

京都市に本店を持つチョコレートブランドの「Dari K (ダリケー)」ではカカオ豆の調達から製品化までの工程をすべて自社で行う。国際的な評価も高い。貧困支援としてカカオ豆を無条件で高く買い取るのではなく、高品質なカカオ豆を生産したら相場より2—3割高い価格で買い取るのが特徴。人気のプレミアム・チョコレート(10枚)は2200円。



家's
「yes」

国産古家具 2千円台から

家's(イエス、富山県高岡市)はアップサイクルした国産アンティーク家具のサブスクリプションサービスを行う。職人が修理した50—100年前の国産アンティーク家具を2000円台から使うことができる。このサービスでは気に入った商品を購入することもできる。その時には、サブスクリプションサービスで支払った金額を定価から引いた額で提供する。最短1カ月から利用可能。



リクスコーグ
山櫻「rikskog」

バナナから紙製ハンガー

紙製品製造・販売の山櫻(東京・中央)は紙製のエシカルハンガーを取り扱う。紙は再生紙またはFSC認証紙を使う。表面の化粧紙にはバナナの茎からなるフェアトレードペーパーを採用、貧困と海洋プラスチック問題の解決に寄与。メッセージを書き込めるのでギフトにも最適。レギュラーサイズ3本セットで2145円。



イトーキ
「地域材活用
ソリューション
Econifa」

針葉樹活用で 地域林業を支援

オフィス空間などを手掛けるイトーキは、家具製作を通じた地域材活用ソリューション「Econifa」を開発。日本の森林の大半を占めながら家具に向かないとされる、針葉樹を独自の技術と洗練されたデザインでテンプレート化した。地域材を使うことで林業振興に貢献するほか、CO₂削減に寄与する。FSC CoC認証取得、グリーン購入法適合製品。

「CO₂ネットゼロ」の家具



イトーキ
「nona」
チェア

「nona」は日本国内でサプライチェーンを構築し、輸送距離を短縮することでCO₂排出量削減につなげる。部品点数も少なく設計された。さらに原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでに排出するCO₂を機種ごとに算定し、CO₂排出量100%を対象にカーボン・オフセットを実施。排出権は事業拠点のあるインドネシアの泥炭湿地保全・修復活動で創出されるものを選定している。グリーン購入法適合製品。5万6980円から。

オルタナ編集部が選んだ サステナブルセクション★2020

サステナブルセクション(オルタナ／一般社団法人CSR経営者フォーラム共催)は、エコ／エシカル／グリーン／サーキュラーエコノミーなど、サステナブル(持続可能)な手法で開発された製品／サービス／ブランドを選定して、ご紹介する仕組みです。「★」「★

★」はオルタナ編集部が選定し、最高位の「★★★」は毎年10月に審査委員会を開き、厳正な審査のもと決定します。「★」の募集は年4回実施します。審査基準など詳しくは、右のQRコードからオンライン記事をご参照ください。



IKEUCHI ORGANIC 「オーガニックコットン製品」

風で織る エコタオル

IKEUCHI ORGANIC(愛媛県今治市)では有機栽培綿を使用したタオルなどの衣料品を製造している。赤ちゃんが舐めても安全なレベルの国際認証を取得し、電気は風力発電で調達している。原綿の調達は事前に取り決めた量を買取り、同じ調達先から一定量を長期間買い続ける。各商品に貼付されているQRコードを読み取ると製造情報を知ることができる。



みんな電力 「顔の見える電力」

顔の見える エコな電力

全国各地の再生可能エネルギー生産者と消費者をつなぎ、「顔の見える関係」にこだわり電力を供給している。再エネ比率(電源構成)は約8割と業界トップクラス。太陽光、風力、地熱など各地の発電所の魅力をウェブサイトで発信し、消費者が直接電力生産者と交流する「発電所見学ツアー」を実施している。ブロックチェーン技術を活用し、発電源を特定した電力供給にも取り組んでいる。



ヤマチク
「okaeri」

国産竹の箸 日本の食卓に

熊本県南関町に拠点を構えるヤマチクは1963年の創業以来、日本で唯一国産の竹だけで竹箸をつくっている。安価な木材やプラスチック製の箸が主流になる中で、自社ブランド「okaeri」(2本1430円)には、「竹箸をもう一度日本の食卓へ」という意味を込めた。放置竹林の問題を解決するには、竹を資源として認識することが重要だと訴える。



パン・アキモト
「救缶鳥プロジェクト」

パンの缶詰で 途上国を支援

パンの缶詰「救缶鳥」を約6カ月の賞味期限を残した状態で購入者から回収し、NGOなどと連携して途上国や被災地域に支援物資として寄贈する取り組み。独自のリマインダー機能で食品ロス削減にもつなげる。2019年は6万1503個の救缶鳥が国内外に届けられた。プロジェクトに参画する購入者や企業には毎月、活動報告が写真付きメールで配信される。15缶セット1万1340円。



アーバンリサーチ
「commpost」

廃棄衣料に 新しい価値を

アーバンリサーチが展開する廃棄衣料のアップサイクルブランド。素材の分別が難しい廃棄繊維を色ごとに分けてリサイクルする研究を行う「カラーリサイクルネットワーク」との協働で、新素材と新製品を研究開発。NPO法人「暮らしづくりネットワーク北芝」と協働し、同ブランドの素材・製品の生産過程で障がい者や高齢者、乳幼児がいる人など就労困難者や地域住民を雇用している。



CRAZY
KITCHEN
「サステナブル
コレクション」

社会課題を 「ご馳走」に

市場に出回らず廃棄されてしまうことが社会課題となっている未利用魚や害獣を使用したケータリングサービス。メニューには引退した競走馬などの馬ふん堆肥で育った岩手県八幡平産のマッシュルームや獣害が問題となっている石川県産イノシシのグリル、後継者不足で悩む棚田米（新潟県産）などがある。環境負荷削減のため、プラスチックではなく木製の箸などを採用した。



LOOB JAPAN
「LOOBのジュース
バック製品」

比国の容器ごみ アップサイクル

フィリピンのNGOである「LOOB (ロオブ)」はパナイ島イロイロ市にあるごみ処理場からリサイクル可能なジュースパックを回収し、バッグやポーチなどにアップサイクルしている。生産者はごみ処理施設の近くに住むインフォーマルセクターの人々。生産者のキャパシティ・ビルディングを行いながら、毎月一定額の製品を購入することで、生産者の生計の安定を図る。



ティリスインターナショナル 「JACKS beauty line」

動物毛を使用しないブラシ

アニマルウェルフェア（動物福祉）の観点から動物毛を一切使用せず、高品質な合繊毛を採用したメイクアップブラシ。メイクアップアーティストのミリアム・ヤックスが立ち上げた。獣毛アレルギーの人も安心して使用でき、雑菌が繁殖しにくく、獣毛独特の香りもない。ブラシの柄にはハンドペイントが施されたりサイクルウッドを使用している。

生ごみが「美味しい」野菜に



ローカルフード
サイクリング
「LFCコンポスト」

再生プラを100%使用したスタイリッシュなバッグ型コンポスト（3278円）を開発。お試し体験からステップアップできる商品設計や利用者の問い合わせにLINEで答えるようにしたことで20—40代のコンポスト初心者を受けている。2020年1月に販売を始め、6千世帯以上が購入（7月末）。マルシェ農家と提携して、各家庭でできたたい肥を回収して、無農薬野菜を作る取り組みも計画している。

人と環境に配慮した洗剤



サラヤ
「ヤシノミシリーズ」

洗剤による水質汚染が問題視されていた高度経済成長期に、サラヤは環境負荷が少ない植物系食器洗剤「ヤシノミ洗剤」を開発。無香料・無着色で、排水は微生物によってすばやく分解される。原料となるパーム油の持続可能性にもこだわり、同社は2005年1月、日本企業として初めてRSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）に加盟。ヤシノミシリーズを含むすべての自社製品（国内販売）でRSPO認証を100%取得している。



ボーダレス・ジャパン
「ハチドリ電力」

再エネ増やす 独自の販売設計

環境負荷の削減とNPO支援を同時に実現した電力サービス。再エネ指定の非化石証書（FIT）を100%全量分購入することで、実質100%自然エネルギー由来のCO₂排出量ゼロの電気を提供する。電気代の1%が既存の建物に太陽光パネルを設置して自然エネルギーの発電所を増やすための基金に、もう1%がNPO（約40団体から選択）への寄付となるユニークな仕組み。



山陽製紙
「PELP!」

紙を捨てずに 循環させる

「捨てず、燃やさず、めぐる紙」——。オフィスなどでの不要なコピー用紙を専用の回収袋「PELP! BAG」に詰めて宅配便で送ると、再生紙をへてオリジナルの名刺や封筒などのオフィス用品、ライフスタイル雑貨にアップサイクルされて戻ってくる。捨てられる前の紙より価値の高いものをつくることで「循環型社会への貢献」という理念を体現し、その輪を広げるさきがけとなるサービスだ。



アフリカの伝統 アパレルで表現



DOYA
「CLOUDY」

アフリカの民族柄、伝統の織などを取り入れたアパレルブランド。フォーマルなシーンにも映える今までにない「アフリカンテイスト」が魅力。高品質の商品を作り出すと同時に、収益の一部をアフリカでの雇用支援や教育支援、健康促進活動に充てる。障がい者やシングルマザーといった社会的弱者を積極的に支援し、年間100人を超える新規従業員を雇用している。5000—1万5000円。



IDEC
「HWシリーズ
パイロットライト」

業界初の 6色LED

HWシリーズ パイロットライト（表示灯）は、LED球を使用することでCO₂削減に資するとともに、業界で初めて一つのLED球で6色を表現できるユニットを開発。これまで必要だった5色のLED球から、大幅な省資源を実現した。新LED球は、従来より鮮やかな色で視認性がアップすると同時に、カラーユニバーサルデザインに対応し、色覚の個人差を問わずできるだけ多くの人が識別できる安全色に対応している。



ワイズ・ワイズ
「フェアウッド
100%の家具」

地域木材から 高品質家具

ワイズ・ワイズは、2009年からフェアウッド(伐採地の森林環境や地域社会に配慮した木材・木材製品)100%による家具、インテリアづくりに取り組む。地域木材を使い、地域林業の活性化を促進。ESGを経営理念に掲げる企業と自治体や地域事業者を結び、地域が抱える課題解決も行う。NGOと組みフェアウッド勉強会や子ども向けの木育授業も開く。6万円から。



ウルシネクスト
「漆のプラスチック
フリーカード」

「漆」のカード ICにも対応

漆と木綿という天然素材だけで作られたカード。漆が持つ天然の抗菌作用で、衛生面でも安心して使用できる。ガラスとほぼ同じ硬度があり、十分な強度と耐久性がある。徐々に風合いが増して美しく経年変化していくので長く使い、廃棄物削減にもつながる。UV印刷やICチップの埋め込みも可能だ。2000—5000円。



海外事例

エアレンダー
「ストーンウェア」

ストーンウェアで就労支援

生活雑貨の英ブランド「エアレンダー」は、原材料の調達も製造もほぼすべて英国国内で行っている。商品の1つ、ストーンウェア(炆器)は南西部のグロスターシャー州で居宅生活支援を受ける学習障がい者の手によるものだ。ほかに自閉症者、精神疾患から回復しつつある人、人身売買の被害者などが作り手。工芸品を作る作業は、自尊心を身に付け、社会から求められる存在だという意識を育む機会になっている。



海外事例

デルフト工科大学
KLMオランダ航空
「フライングV」

V字型の未来 の飛行機

オランダのデルフト工科大学とKLMオランダ航空が共同開発中の長距離飛行機「フライングV」は、空気抵抗が減り重量も軽くなり、環境に配慮したエアバスA350型機より燃料使用量を20%削減する。乗客が快適に過ごせるよう座部の高さを変えられる席、4人掛けボックス席、3段ベッドなど斬新なデザインを考案。収容人数は約300人、既存の滑走路やゲートを使用予定だ。



海外事例

テンス
Tense
木製腕時計

再生木材の腕時計

1971年創業のカナダの木製腕時計メーカー「Tense(テンス)」は、100%リサイクルまたは再生木材を使用した木製の腕時計を一点一点手作りしている。ムーブメントには日本製のMiyataや、スイス製のプレミアムRondo 6004Dを使い、環境に配慮しながらも、質の高い腕時計を生み出している。事業は家族経営で現在も創業者であるケン・P・ラウ家族が運営している。

※価格はすべて税込



親子で料理を楽しむキット

ベネッセコーポレーション

「Kit Oisix withしまじろう」

ベネッセの「こどもちゃれんじ」と食品宅配サービスの「Oisix」が、親子で料理を楽しめるミールキット「Kit Oisix withしまじろう」を共同開発。食材に加えて「オノマトペミニ絵本」も提供。オノマトペ(擬音語)で食材の特徴や調理工程が記載されているので、子どもも楽しく主体的に「食」にかかわれる設計になっている。



エコカップで プラ削減を



アサヒビール
「森のタンブラー」

アサヒビールとパナソニックがバルブ成分を55%以上含んだ「森のタンブラー」を共同開発し、使い捨てカップのリデュースを促進。自然な質感で、高強度、耐熱性、植物繊維の凹凸構造でビールの泡をきめ細かくするといった特徴を持つ。原料に社有林の間伐材などを使用するほか、北海道下川町の「トドマツ残渣」を活用し、商品化する予定もある。



ソーシャルアクション
カンパニー
アクトコイン
「actcoin」

社会性を価値に コイントーク

actcoinのユーザーはボランティアや寄付など社会貢献活動をするとブロックチェーンでコイントークンが付与される。現時点では、コインを換金したり、コインでモノを購入したりすることはできないが、将来的には1コイン1円でNPOへの寄付やエシカルなグッズと交換できるようにする予定。SDGsにまつわる行動を習慣化させる機能もある。



ドッツジャパン
「フーヒップ」

アクセサリーで 女性の自立支援

ベトナム中部フエで女性の自立支援を行うために生まれたアクセサリーブランド。職業訓練を通じてアーティザンを育成し、アクセサリーという夢のある製品の仕事に就くことで、自尊心の低かった貧困家庭の女性たちに誇りをもって働いてもらえる環境をつくり出す。売り上げの一部は貧困地域の子どものための奨学金などに充てられる。2000—1万5000円。



クリエイティブ・シェルパ
「江戸仕立て
都うちわ千鳥型」
(千鳥うちわ)

「伝統」と「福祉」を連携

こだわりが強く、反復作業が得意という障がい特性のある若者たちが、「江戸仕立て都うちわ千鳥型(千鳥うちわ)」の最後の職人に技術伝授をしてもらいながら、製品を仕上げています。「伝福連携(伝統と福祉の連携)」を体現する商品だ。製品パーツを3つに分け、工程を分解して各作業が得意な福祉施設で業務を担う。1万800円。

SUSTAINABLE★SELECTION 2020 選定一覧		
★★★★ (三ツ星)	IKEUCHI ORGANIC (イケウチオーガニック)	オーガニックコットン製品
	サラヤ	ヤシノミシリーズ
	みんな電力	顔の見える電力
	山陽製紙	PELPI(ペルプ)
	ワイス・ワイス	フェアウッド100%の家具
★★★ (二ツ星)	アーバンリサーチ	commpost(コンポスト)
	アサヒビール	森のタンブラー
	ソーシャルアクションカンパニー	actcoin(アクトコイン)
	ベネッセコーポレーション	Kit Oisix withしまじろう
	LOOB JAPAN(ロオブジャパン)	LOOBのジュースパック製品
	山櫻	rikskog(リークスクーグ)
★ (一ツ星)	ヤマチク	okaeri
	IDEC(アイデック)	HWシリーズ パイロットライト
	家's(イエス)	yes
	イトーキ	地域材活用ソリューション Econifa(エコニファ)
		nona チェア
	ウルシネクスト	漆のプラスチックフリーカード
	クリエイティブ・シェルバ	江戸仕立て都うちわ千鳥型 (千鳥うちわ)
	CRAZY KITCHEN (クレイジーキッチン)	サステナブルコレクション
	Dari K(ダリケー)	プレミアムチョコレート
	ティリスインターナショナル	JACKS beauty line (ジャックス ビューティー ライン)
	DOYA(ドoya)	CLOUDY(クラウドディ)
	ドッツジャパン	フーヒップ
	パン・アキモト	救缶鳥プロジェクト
	ボーダレス・ジャパン	ハチドリ電力
	ローカルフードサイクリング	LFCコンポスト

活性化を促進する。ESGを経営理念に掲げる企業と自治体や地域事業者を結び、地域が抱える課題解決を目指す。

たど捉えています。未完成な部分や行動力など課題を乗り越える勇気を頂きました」とコメントした。

とができるインパクト性、長期的なスパンや実績をもつ、もしくはこれからのサステナビリティを担うという歴史性・継続性、そして未来へのビジョンをもつという将来性の観点で優れていました。二ツ星に選ばれた団体と営みに

は、それぞれがこれからの伸び代を持っており、今後の発展への期待を寄せています」と激励した。

た製品／ブランドは、年に2回行われる「★★」の選考に進むことができる。★★の選考会は、毎年3月と9月を予定しており、第1期で★に認定された製品／ブランドも★★に応募できる。

42ページで「サステナブル★セレクトション★(一ツ星 第2期)の顔を紹介します。

2021年1月1日―2月15日まで、「サステナブル★セレクトション第3期」★(一ツ星)の募集を行います。「★」に認定された製品／サービス／ブランドは、2021年3月発行予定の「オルタナ本誌64号」に掲載します。「★」の審査・誌面掲載の費用は掛かりません。

その後、「★★」の審査を経て、2021年10月に開催予定の「サステナブル★セレクトション2021」★★★選考委員会」で、今回と同様に「最も優れた企業／団体」を表彰します。



SUSTAINABLE★SELECTION 2020

IKEUCHI ORGANIC サラヤ みんな電力 山陽製紙 ワイス・ワイス 5社に三ツ星



サステナブル★セレクトション三ツ星選考委員会に参加した応募企業／NPOと選考委員、東京都立産業貿易センターで(東京・港) © Ben Yamaguchi

オルタナとCSR経営者フォーラムは10月16日、「サステナブル★セレクトション2020期」★★★(三ツ星)「選考委員会を開催した。『サステナブル★セレクトション』とは、エコ／エシカル／グリーン／サーキュラーエコノミーなど、サステナブルな手法で開発された製品／サービス／ブランドを選定して、紹介する仕組み。候補企業11社がプレゼンを行った結果、★★★には5社が選ばれた。

(オルタナ編集部・松田ゆきの)

「サステナブル★セレクトション」の「★(一ツ星)」「★★(二ツ星)」はオルタナ編集部が選定し、最高位の「★★★」は毎年10月に審査委員会を開き、厳正な審査のもとで決定する。第1期では14製品／ブランドが「★★」に選定された。★★★から「★★★」への選定に挑んだ10企業と1団体は東京都立産業貿易センターでプレゼンテーションを行った。



サステナブル★セレクトション三ツ星選考委員会の竹村眞一審査委員長 © Ben Yamaguchi

持続性推進機構理事長(元環境事務次官)、高野孝子・早稲田大学文化構想学部教授、山口真奈美・日本サステナブル・ラベル協会代表理事、徳江倫明・フードトラストプロジェクト理事長、森根・「オルタナ」編集長の6人が務めた。

ている。同社は電気を風力発電で調達するほか、循環可能な組織づくりに取り組む。

サラヤの「ヤシノミシリーズ」は、「ヤシノミ洗剤」を中心とした環境負荷が少ない植物流系食器洗剤で応募・受賞した。同社は、仕事と家庭の両立支援制度などサステナブルな組織作りにも取り組む。

山陽製紙は捨てられる前の紙より価値の高いものにアップサイクルする「PELPI(ペルプ)」で応募・受賞した。同社では全社員がエコ検定、CSR検定への合格を目指している。

みんな電力の「顔の見える電力」は、電源構成の再エネ比率は約8割と業界トップクラスを誇る。生産プロセスをブロックチェーンで管理し、生産者の思いやこだわりで商品やサービスを選べる仕組みに取り組む。

ワイス・ワイスの「フェアウッド100%の家具」は、地域木材を使い、地域林業の



「意識」だけではなく、「行動」に繋がる
mymizuチャレンジ

一緒にSDGs、取り組みませんか？



mymizu.co/challenge



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SUSTAINABLE★SELECTION[★(一ツ星)第2期]

オルタナとCSR経営者フォーラムはこのほど、サステナブル★セクション[★(一ツ星)第2期]の公募・選考を行い、4製品／サービスを「★」に認定しました。★の認定を受けた製品／サービスは、3月以降に開催する上期／下期審査会への参加を経て「★★」の認定

を受けることができます。★★は、選定基準に「企業としてサステナブル／エシカルな取り組みをしているか」が盛り込まれます。今後のサステナブル★セクションの開催概要は右のQRコードからオンライン記事をご参照ください。



alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021
ファイン
「FINEeco 41
竹の歯ブラシ」

体にも優しい 竹の歯ブラシ

三重県伊賀市で作られた竹由来の歯ブラシ。ヘッドや柄のサイズ感が日本人に馴染みやすい設計だ。柄には、ポリ乳酸樹脂と竹の微粉末をブレンドした天然由来の素材を使用。ブラシには自己摩耗性がある天然毛(豚毛)を採用し、歯のエナメル質や歯茎を傷付けず、歯間にもなじみやすい。長い期間が経つと生分解が進んで本体がもろくなるため、使用期限は2年間。



alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

東京チェンソーズ
「きこりのスローピー」

雇用と森を生む 木のおもちゃ

東京・檜原村で伐採・搬出した原木を村内で加工して作ったスロープのおもちゃ。枝や幹など建築材として流通しない部材を使い、立木1本当たりの価値を上げて、林業の再活性化や産業振興に貢献する。工房では地域の20—70代が製作に携わり、人口流出が進む村内で新たな雇用も生み出す。売り上げの一部は同社が管理するFSC認証を取得した山林の整備に充てている。



alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021
デジタルグリッド

「デジタルグリッドプラットフォーム(DGP)」

民間電力取引 で再エネ普及

東大発の「DGP」は再エネ電源をはじめとした電源と電力需要をピアツーピア(P2P)で結び付ける、日本初の民間電気の取引所だ。限界費用ゼロの再エネを普及させ、電力料金を引き下げる。株主50数社の大企業需要家を結び、地方での再エネ発電で地域に産業と雇用創出にも取り組む。地域で電力の自給自足が可能となり、災害時の停電被害を減らすことにもつながる。



alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021
はし藤本店
「日本の割箸シリーズ」

国産廃材の割箸で 地域共生目指す

国産材の建築余材として廃棄されてしまう端材や、健康な森を維持するために伐出した間伐材を活用して生まれた割箸。製造は各地域で社会福祉法人が運営する工場が担い、製造・販売を通じて社会福祉法人と連携しながら、地域共生社会を目指している。木材を伐出した地域、加工した工場など製品のトレーサビリティを消費者たちに開示して売られている。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

イーペー
Yper
「OKIPPA
(オキッパ)」

再配達防ぐ簡易 宅配ボックス

OKIPPAを使うことで再配達を無くし、配達で生じるCO₂削減と環境負荷や労働の負担低減に貢献しつつ、非対面受取も可能に。衣料廃棄物でできた再生リサイクルポリエステル製のバッグの普及で環境負荷も抑える。OKIPPAは場所・工事が不要、手のひらサイズに折り畳め、ドアに固定してぶら下げるだけ。置き配保険や専用アプリの配送通知で安心も。販売数16万個。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

カエルデザイン
「カエルデザイン」

海洋プラごみを アクセサリに

デザイナー、アクセサリー作家、クリエイティブ・ディレクターの3人からなる「カエルデザイン」が、障がい者の就労支援施設と共同で取り組む。海岸で集めたプラスチックを手作業でイヤリングやペンダントなどのアクセサリにアップサイクルする。当初は金沢の海岸で回収していたが、現在は全国14都道府県の団体や個人から届く海洋プラスチックも対象にしている。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

ワン ビザ
one visa
「one visa for
行政書士」

煩雑な入管業務を 速く・正確に

入管業務をオンライン化し、ビザの申請情報の収集、書類の自動生成、申請状況の可視化などのサービスを展開。外国籍人材が移住する上で直面する課題の解決を目指した。本サービスに行政書士、企業、外国籍人材の3者がログインし、最新情報を確認できるほか、面談の時間が充実することで精度の高い提出書類を作ることができる。



味と生産背景を 見える化

★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

アルタレーナ
「QoFFEE by
rio coffee
(コーヒーバイ
リオコーヒー)」

生豆の買付価格を相場の2倍以上とする独自の基準を持つ。再生プラカップを利用し、兵庫県芦屋市の間伐材で作られたトレイで提供。カップのQRコードを読み取ると、「誰が」「いつ作った」「どんなコーヒーか」などのストーリーが読み込める。美味しさを記録できる機能もあるので、消費者の満足度を可視化できる。生産者に伝えることで「おいしさでつながる循環システム」を構築。

漂着海藻が生み出す天然食物繊維



★★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

キミカ
「アルギン製品
シリーズ」

アルギン酸は海藻のネバネバ成分からつくられる天然の食物繊維。食品、医薬品、化粧品などの原料として幅広く活用される身近な素材。キミカのアルギン酸は、固くて食べることができない南米チリの漂着海藻を原料に、環境配慮型の独自製法で生産されている。他に使い道のなかった漂着海藻に価値を見出すことで、チリ漁民の生活水準を飛躍的に向上させたほか、アルギン抽出後の海藻残渣は肥料としてチリの農家に無償提供されている。

★★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

オルタナ編集部が
推奨する

サステナブル★セクション2021

サステナブルセクション(オルタナ／一般社団法人CSR経営者フォーラム共催)は、サステナブル(持続可能)な手法で開発された製品／サービス／ブランドを選定して、ご紹介する仕組みです。「★」は製品／サービス／ブランドそのもの、「★★」の応募は任意で、組織とし

てサステナブル経営を推進しているかどうかをオルタナ編集部が選定します。最高位の「★★★」は毎年10月に開かれる審査委員会で決定します。「★」の募集は年4回実施します。詳しくは、右のQRコードからサイトをご参照ください。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

大阪ハニー
「financier
And Honey」

国産生ハチミツの 自然派スイーツ

加熱処理をしない国産ハチミツを使って、自然のままの色や香り、味を生かしたオリジナルスイーツを製造。都市養蜂事業「NPO法人梅田ミツバチプロジェクト」を支援し、大阪市内での採蜜を通じた地域の緑化環境づくりに参画。ミツバチが育つ環境は安心と安全の指針にもなり、自然と寄り添う都市養蜂の生産現場を維持することで、まちづくりに寄与する。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

ウェアブルック「SMASELL(スマセル)」 シェアで「衣類ロス」解決へ

衣類の滞留在庫を持つサプライヤーと、製品を必要とするバイヤーをつなぐ卸売・仕入れのマッチングプラットフォーム。1千社以上のサプライヤーと約2万5千人の会員がいる。廃棄されるB品や返品、レンタルで使われた古着などを取り扱い、世界で年間228億着が廃棄される「衣類ロス」問題に取り組む。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

フェルマータ
fermata
「EVE
オーガニック
生理用ショーツ」

環境配慮型の 生理用ショーツ

肌に触れる部分には国際認証(GOTS)を取得したオーガニックコットン製の生地を採用。欧州のエコ認証「Oko-tex standard 100」取得の吸水生地、サステナビリティ認証「ブルーサイン」取得のシンパテックスを防水生地に使うなど、こだわりの素材で作られている。製造時に動物実験をしていない。使い捨ての紙ナプキンの使用量を減らすことにも一役買うので環境にも貢献。



若者向け和装 「粋る」を訴求

★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

コール
巧流
「巧流-call-」

職人の家系で生まれた20代の兄弟が設立した。和裁士の文化継承を目指した若者向けブランドである。消費者に「粋る」というこだわりをもって購入してもらい、長期的に使用してもらう「エシカル消費」を広げたいという思いを込めた。布を直線に裁断し、縫いの技術で仕立てる着物は、別の製品に作り直したり、仕立て直して次世代に受け継いだりできることが特徴だ。



トヨタ自動車
「Toyota Green Wave Project」

生物多様性も自然共生も

地域ごとの「いい町・いい社会」の実現に向けて、自然保全活動の輪を地域や世界とつなぐ3つの活動を展開。その一つ「トヨタグリーンウェイブプロジェクト (GWP)」では、生物の生息域保全など自然共生活動に取り組む。活動を開始した2016年から、オールトヨタ自然共生ワーキンググループに参画する22社を中心として、生物多様性に寄与するサステナブルな社会づくりを目指す。



alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021
大橋量器
「エコ加湿器
マスト」

地域木材で空気を潤す加湿器

長野県木曽地方や岐阜県の東濃ヒノキを材料にしている。サイズの都合で建築材としては使えない端材を仕入れるほか、生産地の近郊から仕入れることで、地域経済の活性化やCO₂の排出削減を目指す。マストは電気を使わず、水を注いで置くだけの自然気化式。枳を作る際に出る「かんなくず」でできたフィルターが水を吸い上げ、ヒノキの香りとともに空気を潤す。

パイナップルレザーで商品展開



ラエステレン
「LAERSTERENN」



モリト
「C.O.R.E.」

廃漁網を身近な樹脂製品に

海洋プラスチック問題の一つである廃漁網を原材料としたアパレル副資材や雑貨などの樹脂製品を作っている。海の生態系に影響を与えているプラスチックゴミの4割以上が廃棄された漁網だ(環境省調べ)。廃漁網を身近な製品に加工することで、海洋汚染問題に取り組む。金属付属品の製造工程では水・化学薬品・電気などの資源の使用を削減し、汚染物質の排出を抑える。



生分解性ラップ
食ロス削減も

ティーム
(ビーエコラップ・ジャパン)
「Bee Eco Wrap/
ビーエコラップ」

ミツロウとホホバ油、木の樹脂をブレンドし、GOTS認証のオーガニックコットンに浸透させて作られた生分解性のラップ。従来のラップの代わりに使うことで、プラスチックや石油製品の消費削減に貢献することができる。エコプリントで生地を印刷する、ハチに負担をかけない方法でミツロウを採取するなど、環境への配慮にこだわる。

ヴィーガン素材として注目を集めるパイナップルレザーを使った商品を展開している。顔料にもオーガニック素材を使い、動物福祉と環境負荷に配慮した製品を作っている。縫製は国内で行い、公正な生産体制を維持する。梱包もプラスチックフリーを徹底し、オーガニック素材を使った巾着などを採用。同代表はSDGsなどの勉強会を通じて、購入者に分かりやすく透明性のある情報開示を行っていることも特徴の一つ。



V系×エシカル 伝統と環境支える
ネオエシカルファッションブランド
「兆-KIZASI- MADE WITH JAPAN」

フェアトレードオーガニックコットンの生地と、オーガニックコットン製のミシン糸からなるオリジナルブランド。京都の伝統技術「京黒染め」でデザインを施し、伝統技術の継承も支える。サプライチェーンの人権を守り、適切な労働環境やトレーサビリティを保証するbioRe COTTONや、CO₂削減につながるコンポストになる梱包材を導入。



トラスト 「ウィズスクエア福岡」

SDGsなレンタルオフィス

社会起業家を対象としたレンタルオフィス。多目的スペースやスタジオとしての利用も可能で、SDGsやソーシャルグッドに興味がある事業者のコミュニティの拠点を目指している。社会課題解決型の事業に取り組む人にオンラインでの相談会や講座を展開。運営会社のトラストは、「ユヌス・ソーシャル・ビジネス・カンパニー」として認定を受けている。



h.LAB
「Clean & Refresh
Hand Care Mist」

人・環境をケアするハンドミスト

手指を清潔に保ちながら乾燥や手荒れを防ぐ衛生ケアアイテム(化粧品)。主成分であるサトウキビ由来のオーガニックアルコールは、原産国の農業従事者への公平な賃金、生活、教育の改善を目指したフェアトレード認証原料。その他成分も動物実験を行っていないオーガニック認証原料のみ採用。売上金の一部を、国連WFPを通じた食糧支援にも。



リエート事務局
「ReEthos」

社会起業家の挑戦を後押し

「社会課題に挑戦できる居場所づくり」「社会起業家の育成」「協力して課題を乗り越える」——をポリシーとして社会起業家の支援やコミュニティ運営を行う。毎月セミナーを開き、ソーシャルビジネスやSDGsを啓発するほか、実装段階に入った個人・企業にコンセプト立案、事業計画からマーケティングなどの観点で支援する。福岡にあるが、タイや関東圏などの事業者とも連携している。



ウテナ
「ゆず油」

100%植物由来のヘアオイル

高知県北川村のゆずの種から抽出したオイルを使用。数滴でトリートメント、ティースプーン数杯の量でヘアパックや頭皮マッサージにも使え、複数のケアをゆず油ひと瓶でまかなえるのが特徴だ。包装にはFSC森林認証紙やリサイクル率の高いビンを採用。後継者不足に悩む地方自治体の活性化に協力し、地元小学校向けにオンライン授業も行っている。



シャプラニール=市民による海外協力の会
「クラフトリンク」

生産者と消費者を手仕事でつなぐ

石けんのオリジナルブランド「She with Shaplaneer」では性産業に従事せざるを得なかった女性たちに仕事の機会を提供するなど、クラフトリンクの手工芸品づくりが三度の食事や子どもの教育といった生活向上のほか、生産者のエンパワメントにつながっている。現地の生産団体と連携し、生産者と日本の消費者間のより良い関係構築を目指す。



大栗紙工
「mahora」

発達障がいでも 使いやすいノート

発達障がい者の中には既存のノートに使いづらさを感じる人がいることを知り、製品開発が始まった。当事者に聞くと、「白地だと紙の反射がまぶしい」「薄い罫線で行が分かりにくい」といった声があった。試作を重ね、色は優しい色合いのレモンとラベンダー、罫線は行が分かりやすい「あみかけ罫」と「太細交互罫」で、誰でも使いやすいノートを作り上げた。



児童発達支援
「ハッピーテラス」

放課後等デイサービス
「ハッピーテラスキッズ」
就労移行支援
「ディーキャリア」

発達障がい者の 経済的な自立を

発達障がい児・者の将来的な経済的自立を目指し、児童発達支援のほか、放課後等デイサービス「ハッピーテラスキッズ」、就労移行支援「ディーキャリア」などを運営。0歳児から大人まで、年齢で分断されがちな福祉支援の場を一貫して提供している。全国の地域密着型のパートナー企業と連携し、35都道府県で181事業所を運営するほか、IT特化型の支援事業を4拠点で展開する。



染織工房 空蝉
-utsusemi-
「エシヌ」

植物染料の 手染めマスク

奈良時代から続く草木染めで、コットン素材のマスクなどの製品を一枚一枚手染めしている。マスクのアジャスターにはなめし草、パッケージにはコピー用紙のアップサイクル素材「PELP!」を採用。身近な素材から繊維を採り出して織る、野山の草木で染める、その色や効能、歴史を学ぶワークショップを通じて、食育ならぬ「服育」を普及させる活動も行う。



ハートツリー
「きのかみ」

吉野杉の折り紙で「木育」を

吉野杉を原材料とし、折ったり切ったりすることのできる新感覚の「木の紙」。これまで捨てられていた端材をおもちゃにするプロジェクトの一環で開発された。折り紙や工作の資材として、吉野杉の木目、香り、手触りを五感で楽しむことができる。木を0.1ミリの薄さにスライスし、紙と張り合わせる技術で作られた。日本の森について学ぶ「木育」のきっかけにもつながる。



ハンドタオルで サンゴ礁再生

ブランシェス
「サンゴの森
「ECO今治サンゴタオル」

従業員が沖縄の海でサンゴの大量白化を見たことがきっかけで、サンゴ礁の再生活動を開始。2010年以降、ハンドタオルの売り上げの10%を寄付している。販売枚数は1万6341枚、植えたサンゴは社内ボランティアで植えたものと合わせて268株に上る。3月5日の「サンゴの日」に新発売したサンゴタオルは、パイル部分を「ケナフ30%使用」から「オーガニックコットン100%」に変更。全国のブランシェス店舗やオンラインショップで購入できる。



アムリターラ
「ハイビスカス チーク
(パウダリー)」

沖縄のハイビスカスをチークに

メイクアップ製品に使われる合成着色料(タル色素)や、カルミン、コチニールをはじめ、石油由来成分を一切使わない100%天然由来のチーク。沖縄・宮古島の在来種「あかばな」というハイビスカスが原料だ。売り上げの一部を「サンゴの森基金」に寄付し、沖縄のサンゴ礁の再生や保護活動、サンゴ培養植付け、保護技術の確立に使われる。



アムリターラ
「インディゴ バランシング
ソープ」

日本の「藍」で 昔ながらの石鹸

国内最大の藍の生産地、徳島県のタデ藍を使用し、昔ながらの製法を継承した石鹸作りを行う。減少傾向にある藍農家と直接契約することで地域振興につなげる。植物オイルはすべてオーガニック、シアバターはフェアトレードで調達。50℃前後の温度で時間をかけて熟成させる「コールドプロセス製法」は、原料に含まれる成分を壊さない必要最低限の熱だけを加える製法だ。



アンバーアワー
「ORIKAGO」

アフリカ農村部の 女性たちと作るかご

ケニアに自生する植物サイザルを原料にした収納かごで、幅広い色、デザイン、サイズを展開。衣類入れやペンケースなどさまざまな使い方ができ、脱プラスチックを促す。ケニアの農村部に自社工房を設け、約250人の女性たちと製品づくりに励む。伝統的な手織り技術など、簡易な作業工程を維持することで、誰でも参加できる仕組みを形成した。



保湿クリームに 無農薬の和ハーブ

アムリターラ
「エイジソリューションクリーム」

地産地消や産地支援に根差し、できるだけ農薬や肥料を使わない原料を厳選している。ニガヨモギ、桑の葉、ドクダミなどの和ハーブをオリジナルエキス化。クリームに含まれるニガヨモギ、ローマンカモミール、ホワイトローズマリーは、自社農園で農薬も肥料も使わずに育てている。同社の他製品も含め、2021年3月末から使用済み容器を直営店で回収し、リサイクルも始める。



ライオン サステナビリティ推進部
「ハブラシ・リサイクルプログラム」



歯ブラシの資源循環構築へ

使い終わった歯ブラシを回収し、植木鉢などのプラスチック製品として再資源化するプログラム。歯ブラシは使い続けると汚れを落とす効果が低下するため、月に1度の交換が望ましいという。そこで、歯ブラシを資源循環させることで、環境貢献と口腔衛生を両立できる仕組みづくりを目指す。



Innovation Design
「とれたて魚と野菜の小料理 KIGI」

レストランで食品ロスを啓発

食品ロスを削減するためのユニークな施策を展開。例えば、提携する農家で野菜が取れすぎた時や賄いを作りすぎた時に、1品を「OSUSOWAKE (おすそわけ)」として無料で提供する。店舗で発生した生ゴミはコンポストでたい肥化し、有機野菜を育て、その野菜を使った料理を提供し、食資源の循環を進める。週に1日だけ菜食を実践する「ミートフリーマンデー」も実施。



ライフ
コーポレーション
「BIO-RAL
(ビオラル)」

「ライフ」発の自然派スーパー

食品スーパー大手のライフが展開するナチュラルスーパーマーケット。大阪市と東京・吉祥寺に出店している。「オーガニック」「ローカル」「ヘルシー」をコンセプトに商品を展開し、丸井吉祥寺店では「顔の見える野菜」として、オーガニック野菜の生産者の顔写真入りのPOPを掲示する。紙製ストローや木製スプーン、竹製割りばしなどを採用し、プラ削減にも取り組む。



Innovation Design
「KITCHEN MANE」

料理の価格利用者が決める

食を取り巻く社会課題を知ってもらうために、料理の価格を設定せず、学びの対価として利用者が価格を決めるレストラン。三重県の二木島漁港から、市場には出回らない魚も含めた鮮魚を仕入れて料理を提供する。正規品も規格外も同等に仕入れ、規格外の野菜が廃棄されている現状なども伝えている。その日の食材でメニューを考案することで食品ロス削減にも貢献している。



課題解決目指すおみやげ店
Innovation Design 「haishop」

商品は「日本で作られたもの」と「社会課題解決につながるメッセージが込められているもの」を基準に選んでいる。商品を通じて社会課題を知ってもらい、ライフスタイルを変える機会の提供を目指す。輸送で生じるCO₂を抑制し、日本経済を支えるために日本製にこだわる。障がい者就労支援施設との連携なども進める。



ハートツリー
「環ル森(めぐるもり) ~Sustainable Forest~」

森林保全につながる和楽器のCD

和太鼓、箏、尺八、篠笛、三味線など和楽器のみで構成し、世界25カ国で単独公演を行った「AUN J クラシック・オーケストラ」のアルバム。森をテーマにした9曲を収録。売り上げの一部を山梨県笛吹市の植樹活動に寄付し、ブナ、ミズナラなど地元植生の広葉樹を伐採跡地に植えて水源林を育てる。CD発売にあたって50本を植樹するほか、CD1枚に植樹1本が寄付されるセットも発売する。



王子ネピア
「うんち教室」

トイレや排泄のイメージ変える

学校のトイレで排泄するのが恥ずかしいと、我慢する子どもたちは少なくない。そこで王子ネピアは2007年、日本トイレ研究所とともに、排泄から健康や環境、社会との関係性などを学べるプログラムを開始。累計2万人以上の子どもたちが参加した。小学校で「うんち教室」を行うほか、小学校の養護教諭を対象にした「うんち教室研修会」などを無償で実施。2021年度からは小学校中高学年向けの新規プログラムを開始する予定だ。



離島の自然でアクセサリー

kikirico
「kikirico」

有数の真珠の産地である壱岐島の自然物を使用したアクセサリーブランド。アクセサリーの製作に用いる「バロックパール」はそれぞれに歪みがあり、唯一無二のデザイン性や希少性に惹かれる人も多い。カキ殻を釉薬にした焼き物、島の飲食店から出た天然のアワビの殻、海岸で集めた貝殻やシーグラスなども活用している。売り上げの一部を環境NGOのJEANに寄付している。



竹製歯ブラシで脱プラに貢献



BALIISM
「バンブー歯ブラシ」

柄の部分に100%天然の孟宗竹を使った竹製歯ブラシ。ブラシ部分は、植物由来のひまし油から生産されたバイオマスブラシを採用し、脱プラスチックに貢献している。毛質はやわらかく、やさしい磨き心地と毛先の細かさが特徴だ。温かみのある手触りと見た目、洗面台にそのまま置いても生活感があらず、インテリア性もある。しっかり握れる円筒形状とオーソドックスな平型形状の2種類。



BALIISM
「バンブーストロー」

繰り返し使える竹製ストロー

バリ島の計画伐採地区で採れた高品質の竹を使ったストロー。現地の職人が一つずつ手作りしている。サイズはノーマル、子ども用のミニサイズ、タビオカ用の3種類。自然素材の持つ暖かみのある質感が特徴だ。繰り返し使える竹ストローは生分解性があるので自然に還る。世界的に展開しているラグジュアリーホテル・アリラホテルグループや日本のカフェで採用されている。



ヴィーガンデンタルフロス(880円)と竹歯ブラシ(385円)

スライバル
「Sustainable.S
(エスドット)」

気軽さと利便性
エコECサイト

使い捨てプラスチックの削減やゼロウェイストを目指すライフスタイルブランド。オンラインショップでは、「今日から気軽に始められるエコ」をコンセプトに、歯ブラシなどの日用品(385円から)を販売している。

商品の素材だけでなく発送時にも、環境配慮に取り組む。プラスチック包装や過剰包装をやめて、生分解性のクラフトテープやリサイクル段ボールなどを包装紙として再利用している。売上高の1%を発展途上国の子ども支援や海洋動物の保護を行うNGOに寄付している。将来的には掲載商品の半数以上を国産にすることで、国内の地産地消を活性化するプラットフォームになることを目指す。



オルタナ編集部が推奨する

サステナブル★セレクション2021



第4期

オルタナ編集部が定めた審査基準をもとに選んだ「サステナブル★セレクション第4期」が決定しました。合格した13件(2つ星1件、1つ星12件)を紹介します。

サステナブルセレクション(オルタナ/一般社団法人CSR経営者フォーラム共催)は、サステナブル(持続可能な手法で開発された製品/サービス/ブランド)を選定して、ご紹介する仕組みです。「★」は製品/サービス/ブランドそのもの、「★★」の応募は任意で、組織としてサステナブル経営を推進しているかどうかをオルタナ編集部が選定します。

最高位の「★★★」は毎年10月に開かれる審査委員会で決定します。「★」の募集は年4回実施します。詳しくは、

下のQRコードからサイトをご参照ください。



シャボン玉石けん
「石けん系消火剤」

森林・泥炭火災に 石けん系消火剤

シャボン玉石けん(福岡県北九州市)は、森林火災や泥炭地火災が多発しているインドネシアで、環境負荷が低い「石けん系消火剤」の普及に取り組んでいる。泥炭火災は、植物が十分に分解されずに堆積してできる泥炭層で起きる火災であり、地中でくすぶり続けるため水のみでの消火は難しい。

長期化・広域化しやすいが、石けん系消火剤は地中深くまで浸透し少水量で素早く消火することができる。環境への残留性も低く、植物の生育に対する影響が低いことも特徴。阪神淡路大震災時の消火活動で水不足により消火が遅れたことがきっかけで開発された。



インドネシアの森林火災や泥炭火災の消火剤として普及させている



きじま
「和食店チェーン『きじま』」

すべての食材で 持続的な調達を

和食店チェーンのきじま(横浜市)は、横浜市内を中心に6店舗と、ケータリングや百貨店での物販事業を展開。スローガンとして「美味しい和食と豊かな海を、未来もずっと。」を掲げ、伝統的な和食文化の継承と資源の持続可能な利用の両立を図る。その一環として、無農薬・無肥料で栽培された農産物、MSC・ASC認証を受けた水産物、アニマルウェルフェアに配慮した畜産物、FSC認証製品の調達に力を入れる。「きじま オーガニックチャレンジ」と題して、取り組みを数値化し、その達成度を自社サイトで公開。6月にはMSC認証のかつお削りぶしを採用した。



活イカ入りの名物「海幸盛」(8580円)。サステナブルシーフードが入った「きじまのお弁当」(2035円)。



カーサライン 「CASA FLINE」

サステナブルな セレクトショップ

生産者の想いや地球環境に配慮した、哲学のある商品を取りそろえるライフスタイルセレクトショップ。エシカル（倫理的）ポリシーがあり、オーガニックや伝統技術などエシカルな取り組みを示す10種の独自のアイコンを商品のタグに記載。

手に取った商品が生まれた背景やエシカルな取り組みを一目で判断することができる。オンラインサイトに掲載している「Craftmans Story」では1着が生まれるまでのストーリーを動画で公開し、作り手のこだわりや想いを知ることができる。本社オフィスでは、再エネの使用やコンポストを設置している。



生分解性洗濯洗剤のClean Ocean ナチュラルランドリーリキッド（2750円）。表参道本店では量り売りも行っている



ASHUHARI 「RED BUTTON band collar tuck shirt」



土に還るボタン コロナ支援も

捨てられない服作りを目指す女性向けファッションブランド「ASHUHARI」が展開する寄付プロジェクト。レッドボタンプロジェクトと名付けられたこの取り組みは2020年度から始まった。第一弾として、国内の縫製工場でインディゴ染色系と白糸の綿糸で織ったシャツ（1万5290円）の販売1着に付き200円を特定非営利活動法人ジャパンハート「新型コロナウイルス緊急救援」に寄付する。

このシャツにはボタンがついているが、一番上のボタンだけプロジェクトの名称通り、赤色。ボタンはグワヤシの実が原料で廃棄時に土に還る。今後は同プロジェクトで被災地支援なども行う予定だ。

RED BUTTON band collar tuck shirt (1万5290円)。トリプルウォッシュ・コットン100%素材を使用し、前身頃の第1ボタン・両袖に赤いボタンを施した



Re:Youチョコレート トッピング（ルビー・ビター）2枚セット（3000円）



ロスゼロ 「Re:You チョコレート」



余った製菓材料 チョコに製品化

食べるのに問題がないにもかかわらず行き場を失ってしまった「もったいない」食品を、楽しく食べようと消費者に最後まで届ける、フードシェアリングサービス「ロスゼロ」。日本では、輸入された高級チョコレートの原材料やナッツ・ドライフルーツなどの製菓材料が製品化されことなく余ることがある。それらのもったいない未利用材料を使い、アップサイクル商品とし、製品化。大学生が商品企画やSNS発信にかかわり、広く食品ロスを知るきっかけとなっている。



AFRICL(アフリクル) 「AFRICL」

職人手染めの服 伝統を次世代へ

伝統生地を纏う、大人のアフリカ服ブランド。西アフリカ・ベナン共和国を中心とした職人手染めの伝統生地を用いて、日本で縫製を行う。伝統文化の継承と長く着続けることの大切さを訴求している。

ベナン共和国から仕入れている手染め布地は同国の若手職人が手染めしたものを優先的に仕入れている。先進国の日本で販売し、同国内で伝統文化の再評価につなげ、担い手の発掘・育成を目指す。「永くときめく一着を纏い続けられることが、纏う人にも、作り手にも、地球にとってもしあわせなこと」と考え、145—185cmまで着用可能な「はんぶんこのシャツ」をはじめ、工夫を凝らしたプロダクト作りを行う。



はんぶんこのシャツ（2万9700円）⑤ まいにちのスカート（3万800円）





羽車 「0円ペーパー」

工場の余り紙 メモや絵手紙に

工場で封筒を生産する過程で発生する余り紙をメモに仕立て、購入者に再利用してもらう取り組み。再利用可能な部分をメモサイズにカットし、箱入りメモ紙に仕立てた。商品購入者は0円で購入できる。工場見学者からの「切れ端がもったいない」という意見を元に10年前からスタートし、累計2万4000個のボックス、重量にして12トンを販売した。受注した封筒紙から切り出すのでハリのある紙質で、メモ紙としてだけでなく、図画工作用や絵手紙の材料にも使える。受注の時期により、紙の色も変化する。個装用の箱も糊やホチキスを使わず、リサイクルしやすくしている。



「0円ペーパー」は商品購入者対象のサービス。どんな紙が届くかは楽しみ



オイシックス・ラ・大地 「Purple Carrot (パープルキャロット)」



豆腐そぼろのピビンバ(2人前、1274円)

ミールキットで 「時々ヴィーガン」

「Purple Carrot」は、環境や健康に優しいヴィーガン食を手軽に実践できるヴィーガンミールキットブランド。普段は肉や魚を楽しむ食生活している人が、ヴィーガンの食卓を自宅で簡単に実現できる。食材もレシピも全て届くので、難しい知識も時間も必要なく、「週に数食だけヴィーガン食にする」という新しい選択のハードルを下げた。ヴィーガン食は環境に良いだけでなく、健康面でも注目を浴びている。

日本人の好みや食卓事情にあわせてメニューを開発し、美味しさにもこだわる。使い切りタイプで家庭での食品ロスも防ぎ、パッケージにはサトウキビ由来のバイオマスプラスチック素材を採用している。



Deervery(ディアベリー) 「思わず触りたくなる 鹿革財布Ticket」

鹿の有効利用へ Z世代が考案

野生の鹿の廃棄処分を減らし、利用拡大を目指すDeerveryが販売する鹿革の財布(初回生産限定価格1万4980円)。鹿革はスベスベとした手触りで、防水性にも優れている。日本で捕獲した鹿の革を買い取り、国内の縫製工場に財布に仕上げた。

この財布の製作費はクラウドファンディングで募り、約110万円を集めた。販売1個につき、2千円を鹿革の卸業者に支払う。

日本では捕獲した鹿の9%しか利用されていない。この現状に問題意識を持った現役大学生が立ち上げた。鹿を有効利用することでハンターの収益を上げて、税金に依存している状況を変えていく。

空水土coup mead 「島根県産百花蜜 花めぐり」



生態系に配慮し 「百花蜜」を生産

空水土coup meadは、島根県益田市で環境負荷の少ない養蜂を営む。一般的に、アカシアやレンゲなど、花が咲いたタイミングで、一気に短い期間で何度も採蜜することになる。

本来、自らの食糧として、はちみつを作るミツバチの負担を考え採蜜は年1-2回に限定。ミツバチたちが巣に貯蔵したはちみつで花のない冬を越えることを優先し、ミツバチを取り巻く地域の生態系や植生を見守る。

近隣の山で自生している桜や藤など、さまざまな花を蜜源とし、毎年味わいや香りのちがう「百花蜜」を販売。ハチミツやミツロウを使用したワークショップも行い、環境問題への理解を深める活動も行っている。



島根県産百花蜜(1620円)と日本みつばちのはちみつ(1080円)



鹿革の肌触りと、薄さ、軽さを活かして、無駄のないミニマルデザインに仕上げた





卵殻由来バイオアパタイトを45%配合したアイティナ
ビュー リプロ (2960円)



トレスバイオ
「EiTENA(アイティナ)」

廃棄される卵殻 歯磨き粉に再生

食品加工工場から廃棄されていた卵殻を主原料としてハイドロキシアパタイトを合成し、それを高配合して作られた歯磨き粉。卵の殻のカルシウムとミネラルを含み、歯に馴染みやすく、歯周病菌などを吸着。歯の表面改善効果や、バイオアパタイトの吸着力で虫歯予防も期待できる。

防腐剤・発泡剤・研磨剤は不使用で天然由来成分にこだわる。歯磨き粉1本に使用する卵の殻は約7個分で、年10万本販売した場合、廃棄されるはずだった70万個分の卵の殻を有効活用できる。卵の殻と同じ成分の石灰は、山を削り自然を破壊して掘削されている。卵の殻を有効利用することで、自然を守る一翼を担う。



CO+(コープラス)
「CO+(コープラス)」

生産工程に配慮 有機綿で服作り

「100年先も美しいものづくりを、共に」をコンセプトに、素材だけではなく生産工程全体を通して人や環境に配慮したモノづくりを目指すアパレルブランド。2021年1月にスタートした。

GOTS認証を受けたインド産のオーガニックコットンとテンスル・リヨセルを使った衣類を販売。洗濯タグにはQRコードを付け、購入者がサイトにアクセスし、生産工程について知ることができるようにしている。

ECサイトには「Shopify」を使用し、国内の商品保管場所から最終消費者への配達でかかるCO₂をオフセットしている。



テンスル繊維混ノースリーブ(4740円)。通常のリヨセルと比べて約50%の温室効果ガス削減効果があるとされるテンスルブランドのリヨセルを使用

※価格は全て税込

SUSTAINABLE★SELECTION 2021 三ツ星・二ツ星		
★★★ alterna SUSTAINABLE SELECTION 2021 ★★★ (三ツ星)	アーバンリサーチ	廃棄衣料のアップサイクルブランド「commpost」
	アサヒグループホールディングス	パルプ成分を55%以上含む「森のタンブラー」
	AMRITARA	地産地消につながる和ハーブを使った「エイジソリューションクリーム」
	Innovation Design	利用者が価格を決めるレストラン「KITCHEN MANE」
		食品ロス削減に取り組む「とれたて魚と野菜の小料理 KIGI」
		商品を通じて社会課題を啓発するショップ「haishop」
	ウテナ	高知県産ゆずから抽出した種子油を使ったヘアオイル「ゆず油」
★★ alterna SUSTAINABLE SELECTION 2021 ★★ (二ツ星)	きじま	持続可能な調達を徹底する和食店チェーン「きじま」
	キミカ	漂着海藻が生み出す天然食物繊維を使った「アルギン製品シリーズ」
	山櫻	FSC認証紙やバナナペーパーを使った紙製ハンガー「rik skog」
	h.LAB	サトウキビ由来のオーガニックアルコールを主成分とした「Clean & Refresh Hand Care Mist」
	大栗紙工	発達障がいがあっても使いやすいノート「mahora」
	kikirico	長崎・壱岐島の自然素材を使ったアクセサリ「kikirico」
	兆-KIZASI- MADE WITH JAPAN	フェアトレードオーガニックコットンなどを使ったネオエシカルファッションブランド「兆-KIZASI- MADE WITH JAPAN」

「サステナブル・セレクション2022」のご案内

2022年3月1日ー4月30日まで、「サステナブル・セレクション第5期『★(一ツ星)』」の募集を行います。「一ツ星」の審査・誌面掲載の費用は掛かりません。

「一ツ星」に認定された製品／サービス／ブランドは、2022年6月に発行予定のオルタナ本誌に掲載します。その後、「★★(二ツ星)」の審査を経て、2022年秋に開催予定の「サステナブル・セレクション2022 ★★★(三ツ星)選考会」で、今回と同様に「最も優れた企業／団体」を表彰します。



ウテナのヘアオイル「ゆず油」

ているように人間界だけでなく自然や生態系、地域とのパートナーシップを築いていくことが重要だ。そうしたメッセージを訴求していくことが、サステナブル・セレクションの価値になっていくのではないかとまとめた。

- 【審査委員一覧】
- ▼竹村眞一（京都芸術大学教授Ⅱ審査委員長）
 - ▼高野孝子（早稲田大学文化構想学部教授）
 - ▼森本英香（持続性推進機構理事長Ⅱ元環境事務次官）
 - ▼山口真奈美（日本サステナブル・ラベル協会代表理事／日本エシカル推進協議会副会長）
 - ▼徳江倫明（フードトラストプロジェクト理事長／CSR経営者フォーラム会長）
 - ▼森撰（株式会社オルタナ代表取締役・「オルタナ」編集長）

SUSTAINABLE★SELECTION 2021



選考会はオンラインで開催。各社によるプレゼンの後、審査委員との質疑応答が行われた



アーバンリサーチ
アサヒ・URなど10件に三ツ星

オルタナとCSR経営者フォーラムは11月5日、サステナブルな製品／サービス／ブランドを選定して推奨する「サステナブル・セレクション」の「★★★(三ツ星)」選考会を開いた。その結果、三ツ星に10件、二ツ星に4件が選ばれた。

「サステナブル・セレクション」は、サステナブル（持続可能な手法で開発された製品／サービス／ブランドを選定して紹介する仕組みだ。サステナビリティ／CSR経営やSDGs（持続可能な開発目標）、脱炭素、サーキュラーエコノミー（循環経済）、格差是正といった理念のもと、サステナブルな設計思想を反映したものを選定している。

「★(一ツ星)」は製品／サービス／ブランドそのものの持続可能性を評価している。「★★(二ツ星)」への応募は任意で、組織としてサステナブルな経営を推進しているかどうかをオルタナ編集部が評価する。最高位の「★★★(三ツ星)」は毎年秋に開かれる選考会で総合的に評価し、決定する。



サステナブルな食材が入った「きじまのお弁当」(2035円)

竹村眞一・京都芸術大学教授は、「値段がないレストランやビールのタンブラーなど、UX（ユーザーエクスペリエンス）を象徴する製品・サービスが目立っていた」と話す。パートナーシップの「ロードバンド化」にも言及し、「企業は、SDGsでも強調し